

祭り事と政まつりごと

本郷 好樹

曾てロッキード事件で失職逮捕された総理大臣がいた。五億円収賄の罪であったが、個人的には近年稀に見る器の大きな人間であったと好意期待をしていたが、世間では許されなかつたのである。

一国の総理大臣が国を司つて、無難にその役職を全うする事は至難の業であり、長期政権を維持出来た何人かの総理でも、細かく指摘すれば非難の対象は免れない。

この度、安倍首相の後を引き継ぎ世界的に蔓延感染しているコロナ禍に対する国民への説明や、措置が今一つで自ら総理の座を明け渡すと言つたハプニングがあり、急遽自民党総裁選挙が行われた。

四名の候補者が立候補をして、六十四歳の「岸田文雄」氏が当選、第二十七代総裁に選出され、来る臨時国会で第百代首相に任命される事になった。

これは一国の祭り事では有るが、国民の信頼と世界にも大いに羽ばたいて貰いたいと切に思うものである。日本全国あちこちで行われて来た盆踊りや、花火大

会、浅草三社祭や京都祇園祭そして大文字焼き、その他至るところで何百年と続けられて来た村祭りの様に、政治も同じ村祭りであろう。

派閥や各政党の思惑の上に成り立ち、個人個人の思いを一つに纏めてその国を楽しく豊かにして国民の付度をしながら、良い方向へと導いて行く祭りは大変大事であろう。

村祭りは寄付で行われ、笛や太鼓で村人を楽しませる。国の祭りは正しく税金を受け、又利用して国民を豊かな暮らしに導いて行く事であろう。

国の祭りは、国民の血税で賄われるが、中には寄付も有り、前述の様に悪い利用をされる事が有つて、国民の目が届かぬ事も多く、検察特捜部の出番となるのである。

一つの村や街、そして国が一つの方向に向かつて正しく進んで行く事は至難であろうが、一人一人が本気で取り組み、不可能とは言えない気もする。

世界中が、コロナと言う思いも依らぬ見えない悪魔と戦っている今、今回の新政権には国民全部の期待が寄せられ、祈っている。党利党略を離れ、一人一人の政治家が国民の為に全力を注いで頂きたい。

又国民も高い認識に立って、一致協力してコロナに

立ち向かって貰いたいと切に祈りたいこの頃である。

世界の歴史が語る様に乗り越えられぬ苦難は無いと偉い坊さんは悉く説法為されている。

宿命転換の覚悟を持って頑張つて行こう！